

大人も風しんワクチンを！

現在都会を中心に風しんが流行しています。多いのは20～30歳代の大人です。

風しんは、3日ばしかとも言われ、多くは3日ぐらいで発疹がなおる軽い病気ですが、たまに脳炎や血が止まらなくなる血小板減少性紫斑病も起こすことがあります。
また、妊婦さんがかかると、赤ちゃんが白内障、難聴、心臓病や脳障害を起こす先天性風疹症候群になつたりします。

唯一の予防方法はワクチンを接種することです。妊娠中の女性は受けられませんが、妊娠中以外の成人女性で、ワクチンを接種したことがない、あるいは回数が1回だけ、抗体がついていないなどの場合もワクチン接種が必要です。ご主人も含めて周りの方すべてに風しんワクチンが勧められます。20歳以上の男性は子どもの時に風しんワクチンを接種していない可能性が高いからです。

接種は、できれば風しん単独ワクチンではなく、MR(麻しん、風しん)混合ワクチンが一番のお勧めです。その理由は、風しんワクチンを受けていない人や1回だけの人では、麻しんワクチンの接種回数も不十分で、麻しんに対する免疫も弱いことが多いからです。本当にかかったことのある人が接種しても問題はありません。